

シンポジウムの目的

光赤天連運営委員長 川端 弘治(世話人代表)



● 過去14年間の光赤天連シンポジウム

- ・ 2000年, 2001年「岡山新天文台計画シンポジウム」
- ・ 2002年「光天連将来計画シンポジウム」 将来計画検討書編集開始
- ・ 2003年「光天連将来計画シンポジウム 光赤外天文学の長期展望」
- ・ 2004年「大学の活性化」 将来計画検討書発行
- ・ 2005年「大学の計画と共同利用研の大型計画の連携」
- ・ 2006年「光赤外天文学の将来計画」
- ・ 2007年「スペースから光赤外天文学観測計画」
- ・ 2008年「地上大型望遠鏡計画:2020年のための決心」 TMT参画決定
- ・ 2009年「30m 地上超大型望遠鏡TMT による天文学の新展開」
- ・ 2010年「データ解析の新展開:最先端とアーカイヴ活用」
- ・ 2011年「望遠鏡時間の使い方:共同利用とプロジェクト」
- ・ 2012年「2020年に向けてのロードマップ」
- ・ 2013年「2020年代の光赤外天文学 - 将来計画の再構成」

将来計画検討書編集開始

●2013年度光赤天連シンポジウム

2020年代の光赤外天文学 – 将来計画の再構成

2005年に発行された将来計画検討書の改訂に取り掛かる
大型プロジェクトだけでなく、中規模計画まで含めたものに
サイエンスとプロジェクトを分けずに一冊ものにする
ロードマップの一枚ものの絵を作る
Executive summaryの英語版を用意して公開

プレ編集委員会(シンポ世話人)

→ 編集委員会発足(松原委員長)

●本シンポジウムの目的

「光学赤外線天文分野将来計画検討書」の中間報告会

各検討班の体制や検討内容に関する進捗を報告してもらうとともに、サイエンス・カテゴリ別の分科会を行うなどして議論を深め、そのうえで、重複テーマの調整や検討書のまとめ方などについて、幅広く検討したいと思います。

各プロジェクトからも進捗や関連研究分野の動向について報告してもらいますが、これまでのコミュニティ内の大中規模計画の**俎上に載ってこなかったプロジェクトやテーマ**に関しても発表の機会を設け、光赤天連としてどのように位置付けて支援していくかを議論したり、プロジェクト側からサイエンス検討班へ逆に要望する点なども寄せて頂き、まとまりの良い検討書作りへの一助としたいと思います。

一同に会して議論する貴重な機会を活かしましょう

●世話人より

- ・ 発表スライドをウェブで公開したいと思います。USBメモリで収集に伺いますのでご協力をお願いします。
- ・ 懇親会費を昼休みに受付で徴収しますので、忘れずにお支払下さい。(なるべくおつりが出ないようにご協力ください)
- ・ ポスター1分「口頭」紹介(スライド無し)を設けますので、ご準備をお願いします。
- ・ サイエンス分科会の班分けについて調整しようと思いますので、各班の班長(および担当編集委員等)の皆様は、今日のプログラム終了後、会場に残って下さい。